

## 看護職の院内教育受講率

57.0%

2015年度

## ■ 中堅層向け研修の受講方法改善が課題

看護師の教育・スキルアップは公益社団法人日本看護協会が定める「クリニカルラダー」に則り看護師の看護実践能力に応じて院内教育プログラムを立案し実施しております。

本指標は荻窪病院が計画した 77 の研修の受講率の平均を示しております。新人看護師向けの研修や指導者育成のための研修の受講率が高い反面、中堅層向けの研修の受講率に課題を残しており、受講方法や受講環境の改善が課題です。

荻窪病院では公益社団法人日本看護協会が開始した「労働と看護の質向上のためのデータベース（DiNQL）事業」に参画しており、荻窪病院以外の加盟病院との労務指標に関するベンチマークを行い各病棟毎の分析や改善の取組を開始致しました。



荻窪病院を含むセコム提携病院間で院内の研究活動を発表する研究発表会を毎年開催しております。看護領域の他、院内での改善活動や診療に関する内容、事務的な取り組み等提携病院間での知識の共有と人的交流を図っております。

（写真は同発表会での荻窪病院職員の発表の一例）

